

ここを、ただしました

# 一般質問

今回の一般質問は12月12日に行われ、4人の議員が登壇しました。質問と答弁の要旨をお知らせします。

## 16年度予算編成方針は 事務事業の見直しで対応

財政改革

中尾正男議員



別会計を含めた各会計間との調整、基金を精査し現状を把握する必要がある。これらのことを踏まえ、16年度の財政見通しと予算編成方針について、総務常任委員会の総意として伺います。

町長

16年度予算編成においては自主財源が乏しいだけに、本年度以上に

本町財政は14年度決算で見ると、財政指数は総じて悪化しており厳しい状況にあります。一方、合併を目前に控え、振興計画の未着工事業や末端の町道、農道等の改修の着工を求め、要望があります。16年度の予算編成期を迎え、こうした要望に対応するには、特



財政難から、要望のある町道・農道の整備にも対応が困難である。

厳しくなってくる予想され、徹底した事務事業の見直しや経常経費の節減により歳出の合理化を図り、限られた財源の中で、最良の住民自治を目指すようになっている。財政の運営については、継続事業及び新規事業等について事業内容の慎重な検討を行い、優先順位を決めるとともに、過疎対策事業等を活用して対応できるようにする必要があります。また、各特別会計内の事業内容においては、基金も含めてその中で実施するよう検討するなど、一般財源から繰り出しを少しでも圧縮して、住民サービスにつながるよう努力したいと考えています。

## あびる館 中尾議員 経営方針を問う 合併時まで調整



天井に結露防塗剤を吹き付け、換気も十分に行っている「あびる館プール」

あびる館は町民の福祉と健康増進、観光やイベントの拠点施設として町が100%出資の株式会社として運営がされている。11月に町長から合併議論の中で、他町の類似施設等の関連から、今後、民間委託を視野に入れた経営方針の説明があった。建設当初の理念、合併後の現鶴田町の観光等の拠点施設としての役割や、地元の利便性、社員の身分等を考えると、行政が関与した体制での経営が望ましいと思う。

町長

経営については、公共性を重視しながら、民間経営のノウハウを導入できるなどの理由から、町が全額出資する地方公社としてスタートしたので、当面その方向性は崩さないとの結論であります。

また、管理・運営方法及び役員体制等については、合併時まで調整するということが提案されています。プールの天井の落下は、結露が原因であったので、撤去した状況で修復するようにした。結露防塗剤の吹き付けと機械設備の配管を組み替えて結露の状態は緩和された。今後は十分な換気を行いながら管理したいと思えます。

また、プールの天井の一部が落下しているが、補修の対応についても考えを伺います。

これらを踏まえ、12月10日の合併協議会において、(株)ヘルシーランドつるだ並びに(株)パーク観音滝の株主である地位については、新町



## ふん尿処理の支援は 助成事業等に対応

家畜環境  
高嶺虎男議員



11月から一定規模以上の畜産農家の野積み、素堀処理等は罰則規制

家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律が16年11月施行される。ふん尿の野積みや素堀処理は罰則規制となる。牛10頭以上の経営は施設設備が義務付けられる。生産者の健全育成のためJAと連携した支援対策を伺いたい。また、本町での対象農家数、整備必要件数の調査と指導はされているか伺います。

町長

対象農家は、牛の繁殖農家14戸、うち未整備が4戸で、肥育4戸、豚4戸、ブロイラー8戸はいずれも整備されています。繁殖農家4戸の未整備については、16年度で整備されるよう奨励を促している状況です。